



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第18号

平成18年 1月15日

あした元氣になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



▲重要無形民俗文化財 野沢温泉道祖神祭り
(日本三大火祭りのひとつに数えられる)

年頭にあたって

病院長 長田 敦夫

新年明けましておめでとうございます。
財団法人長野市保健医療公社長野市民病院は昨年おかげさまで開院十周年を迎え、盛大に記念式典を行うことができました。これもひとえに患者・市民の皆様をはじめ多くの方々のご支援の賜と感謝申し上げます。

市民病院は開院から第一世代ともいうべき十年を経て、これから次の第二世代の十年へと移行します。ようやくはじまった病院増改築事業は今までの病床不足を解消するため百床を増床し、同時に救急医療部門を新設し三六五日、二四時間救急患者を受け入れ、市民が安心して生活できる医療環境をつくるのが目的です。三十床の救急重症病棟を整備し、健診、内視鏡等検査、リハビリテーション部門も拡充し、市民病院が十年前の開院時に基本方針の一つとして掲げた「市民の健康教育、病気の予防、治療からリハビリテーションまで一貫して行う保健医療の拠点に近づくこと」になります。

今年の医療費改訂は財政優先で、患者負担の増、診療報酬減額など患者さんにも医療機関にも痛みを強いることになり残念ですが、私も職員一同は病院の理念に沿って患者の視点に立った質の高い安全な医療に誠心誠意励み、患者・市民の皆様さらに信頼される病院をめざします。

本年が皆様にとって希望に満ちたよい年でありますようお願いし、年頭のご挨拶いたします。



慢性閉塞性肺疾患（COPD）とは、有毒な粒子やガスの吸入によって生じた肺の炎症反応に基づく進行性の気流制限を呈する疾患です。慢性気管支炎あるいは肺気腫と呼ばれる症例のかんりのものがこのCOPDの範疇に含まれます。気流制限とは「吸い込んだ息がスムーズに吐けない」状態であり、細い気管支や肺胞の障害によって起こります。安静時には何の症状もないのに、少し階段を昇ったりあるいは重い荷物を持つて動いたりすると息が切れ、フーフーとした息遣いになる労作性呼吸困難を特徴とします。COPDの危険因子には喫煙、大気汚染等の外因性危険因子と患者側の内因性危険因子があります。喫煙は最大の外因性危険因子であり、COPD患者の九十%近くは喫煙者です。また、COPDの発症率は年齢とともに上昇し、高齢喫煙者では五十%近くに達します。

診断は呼吸機能検査と高分解能CTを用いれば比較的容易です。十分空気を吸い込んだ状態から勢いよく息を吐き出す検査を行うと、健康な方は最初の一秒間

に全体の七十%以上を吐き出すことができませんが、COPD患者は七十%未満に低下しています。また、高分解能CT検査では、気腫性病変は低吸収領域（肺胞が破壊され拡大した気腔は抜け落ちたように見える）として描出され、早期の病変の検出が可能です。

治療は大きく薬物療法と非薬物療法に分かれますが、喫煙中の方は何よりもまず禁煙されることが肝要です。薬物療法の中心は気管支拡張薬で、内服薬、吸入薬、貼付剤等があります。また、吸入ステロイド薬や喀痰調整薬もよく使われます。非薬物療法には呼吸リハビリテーション、酸素療法、栄養管理、外科療法等があります。これらを患者さんの症状や重症度を考慮しながら併用して治療します。健康な方でも肺の働きは年々ともにもわずかながら低下するものであり、これらの治療を行ったからといって決して若い時の健康な肺を取り戻せる訳ではありません。治療の目標は、肺の機能低下をできる限り小さくし、呼吸困難感を軽減させ、生活の質を高めることです。

最後に、COPDの患者さんは気道感染を契機に咳・痰、呼吸困難が急速に増悪することがあります。特にこれからの季節は手洗い・うがいを励行し、かぜやインフルエンザに罹らないようくれぐれも注意して下さい。

慢性閉塞性肺疾患(COPD)の診断

呼吸器科統轄科長 平井 一也

きとは年ともにもわずかながら低下する

杉の子第二保育園(柳原)の園児が

当院に手作りカレンダーをプレゼント

去る、十一月二十二日(火)に柳原にある杉の子第二保育園の高沢園長先生を始め三名の保育士の方、そして元気あふれる二十七名の年長園児のみなさんが病院を訪問してくれました。

当日は、当院の市民健康ホールで戸井田事務部長が園児の皆さんを迎え、その場で心のこもったすてきな手作りのカレンダーをプレゼントしてくれました。普段のとても明るく元気な様子が手にとるようにわかるプレゼントでした。

その後病院職員に対して、「葉はどうやって作るの?」「どうして注射をするの?」など普段素朴に疑問に思っていることを質問している姿がとても純粋に見えました。

最後に二十七名全員で元気いっぱい



いに童謡「しょうじょうじのためき」等数曲の歌を披露してくれました。



しょうじょうじのためきばやし
童謡「証城寺の狸囃子」のモデルとなった千葉県木更津市の「証城寺」と木更津駅前の「たぬき像」

職員全体研修「仏教入門」開催

講師 善光寺白蓮坊 若麻績敏隆 住職

教育研修委員会（委員長・宗像外科統轄科長）では、平成十七年十一月十四日（月）、善光寺白蓮坊ご住職若麻績敏隆師をお招きして、「仏教入門」と題して職員研修を実施いたしました。宗教関係者をお招きした研修は初めてであり、参加職員数も百四名（うち、長野市消防局職員の方も六名特別聴講）と、非常に高い関心が伺われました。

受講した職員からは、次のような感想を頂きました。

◆ 仏教の歴史等のお話は、非常に興味深い内容でした。〇〇宗という宗派が日本中に多数見られるのは何故なのか、どう違うのか、素朴な疑問でしたが、分かりやすく理解できました。（技師・女性）

◆ 大変にわかりやすい仏教の説明で楽しめました。ただ、私の理解度や感性では、仏教の死生観を臨床へ応用するにはまだまだ程遠い印象です。仏教に関して、別の機会でもっと時間を割いてお話いただければ幸いです。（医師・男性）

◆ 「母親の死」を迎えた時の思いを聴かせていただき、宗教家であってもみな同じなんだという思いに安心をしました。短い時間で残念でしたが、今後も仏教に限らず

様々な宗教の考えを聴かせていただきたいと思っています。そんな中から、死生観を養っていききたいと思っています。（看護師・女性）

◆ 最近、患者様の中にも心が非常に不安定で、話を聴いてあげるだけで平静を取り戻せそうな方が増えてきているように思います。善光寺のお膝元でもありますし、仏門の方々にご協力いただくことは良いことだと思っています。第2回目を期待します。（技師・男性）

職員の皆さんのご要望を踏まえ、今後も充実した職員研修を企画実施してまいります。

（教育研修委員会事務局・北原啓祐）



アロマクラブ

5階東病棟
看護主任
徳竹 加代子

アロマクラブは昨年の十月に発足し、現在二十五名で活動しています。

第一回目は、藤本和恵先生に「アロマセラピーの基本」についての講義をしていただき、アロマセラピーの知識を深めました。第二回目は、自分の好きなオイルを使って、実際にバスソルトを作ってみました。今回は、ハンドクリーム作りにチャ

レンジする予定です。

アロマセラピーとは「香りを用いて心身を癒すこと」です。あなたもぜひアロマクラブでリフレッシュ＆リラックスメンか？



長野市民病院のホームページを、この度リニューアルしましたので、ぜひご覧下さい。

ホームページ

<http://www.hospital.nagano.nagano.jp>

外 来 診 療 担 当 日 一 覧

平成18年1月15日現在
長野市民病院

○印は初診担当です

	月	火	水	木	金	専 門
内 科 (呼吸器科) (消化器科) (循環器科) (神経内科)	○児玉 亮 ○吉池 文明 平井 一也 ○今井 康晴 立岩 伸之 花岡 健 武田龍太郎	山本 寛二 吉池 文明 ○吾妻 俊彦 今井 康晴 ○丸山 隆久 ○児玉 亮 掛川 哲司	○吾妻 俊彦 長田 敦夫 平井 一也 ○長谷部 修 丸山 隆久 ○花岡 健 掛川 哲司	山本 寛二 吉池 文明 吾妻 俊彦 ○立岩 伸之 丸山 隆久 — ○掛川 哲司	○山本 寛二 — ○平井 一也 今井 康晴 長谷部 修 花岡 健 ○武田龍太郎	長田敦夫 (消化器・肝臓・脾臓) 平井一也 (呼吸器) 今井康晴 (消化器・肝臓) 長谷部修 (消化器・内視鏡) 丸山隆久 (循環器) 山本寛二 (神経内科) 花岡 健 (循環器) 掛川哲司 (腎臓) 吉池文明 (呼吸器) 立岩伸之 (消化器・内視鏡) 武田龍太郎 (消化器) 吾妻俊彦 (呼吸器) 児玉 亮 (消化器)
小 児 科	青沼架佐賜 田村 秋穂	田村 秋穂	青沼架佐賜 田村 秋穂	田村 秋穂	青沼架佐賜 田村 秋穂	青沼架佐賜 (発達・神経・循環器・心身症) 田村秋穂 (免疫アレルギー・血液・腎臓)
午前 10 時以降 午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査	小児心療内科外来	免疫・アレルギー・腎臓 小児心療内科外来	免疫・アレルギー・腎臓 循環器外来	神経外来 小児心療内科外来	
外 科 (呼吸器外科)	関野 康 沖田 浩一 砥石 政幸 —	宮川 雄輔 関 仁誌 西村 秀紀 —	関野 康 宗像 康博 砥石 政幸 沖田浩一 (午後)	— 宮川 雄輔 西村 秀紀 —	村中 太 関 仁誌 (呼吸器外来休診) —	宗像康博 (消化器・胃大腸) 西村秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 宮川雄輔 (肝胆脾) 砥石政幸 (呼吸器) 沖田浩一 (消化器) 関野 康 (外科) 村中 太 (外科)
整 形 外 科	— 南澤 育雄 ○信大医師 ○藍葉宗一郎 ○松田 智	松田 智 竹山 和昭 藍葉宗一郎 ○信大医師 ○南澤 育雄	— 藍葉宗一郎 — ○竹山 和昭 ○南澤 育雄	○松田 智 竹山 和昭 — — ○信大医師	— 南澤 育雄 — ○信大医師 ○竹山 和昭	松田 智 (上肢・末梢神経) 南澤育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節) 竹山和昭 (脊椎・関節疾患) 藍葉宗一郎 (整形外科一般)
形 成 外 科	○滝 建志 池上みのり	○信大医師 池上みのり	○滝 建志 池上みのり	滝 建志 池上みのり	○滝 建志 池上みのり	
脳 神 経 外 科	○竹前 紀樹 徳重 一雄	竹前 紀樹 ○市川 陽三	○竹前 紀樹 (頭痛外来初診日)	竹前 紀樹 ○徳重 一雄	○市川 陽三 —	竹前紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害・頭痛) 徳重一雄 (脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 市川陽三 (脳神経外科一般)
皮 膚 科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	
泌 尿 器 科	岡根谷利一 中山 剛	西澤 秀治 皆川 倫範	岡根谷利一 西澤 秀治	西澤 秀治 中山 剛	岡根谷利一 皆川 倫範	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 西澤秀治 (小児泌尿器・尿路結石) 中山 剛 (神経泌尿器科・前立腺肥大・尿道結石) 皆川倫範 (尿路結石・前立腺肥大)
婦 人 科	森 篤 ○西澤千津恵	○信大医師 —	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵 (婦人科一般)
午後 専門外来 (予約制)	森 篤	—	森 篤	—	森 篤	
眼 科	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —	風間 淳 (眼科一般)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休 診	野村 康	野村 康	
放 射 線 科	休 診	橋田 巖	休 診	橋田 巖	橋田 巖	今井 迅 (画像診断) 橋田 巖 (放射線治療)
歯 科 ・ 口 腔 外 科	○宮原 貴彦 田村 稔	○田村 稔 宮原 貴彦	○宮原 貴彦 田村 稔	○信大医師 —	○田村 稔 宮原 貴彦	田村 稔 (口腔腫瘍) 宮原貴彦 (口腔外科一般)

喫煙室の移動について

開院以来、病院内での喫煙は原則禁止をお願いしており、平成十五年の健康増進法の施行もあり、分煙の徹底を図るべく病院内一階に喫煙室を設けておりましたが、将来の完全禁煙化に向け、平成18年3月中に現在の一階にある喫煙室を、屋外へ移動することを予定しておりますので、患者さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

本紙のバックナンバーは、ホームページ
でもご覧いただけます。

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199
FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社

長野市民病院

Nagano Municipal Hospital

な が た あ つ お
■発行人：長田敦夫
■編 集：長野市民病院
広報誌編集委員会